

平成22年度

北の国・森林づくり技術交流発表集



北海道森林管理局

# あいさつ

北海道森林管理局長 やまざき 山崎 しんすけ 信介

平成22年度「北の国・森林づくり技術交流発表会」の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

本日は、大変多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、審査委員の皆様には、ご多忙の中、快く委員をお引き受けいただき、心より感謝申し上げます。

本日と明日の2日間、国有林職員はもとより、北海道庁、地方自治体、民間事業体、大学、高校、中学校等、多くの方々のご参加を得て、森林に関わる技術の開発、生物多様性の保全、森林環境教育などの取組みについて発表をいただくことになっております。また明日の午後からは、道内の試験研究機関の特別発表、及び北大の柿澤先生の特別講演をいただく予定です。柿澤先生には「森林・林業再生プランと北海道国有林」と題して、同プランの取りまとめの経緯などをお話いただくことになっております。今年も幅広い皆様のご協力によって活発な発表会となるよう期待しております。

さて、木材の供給や公益的機能の発揮等、私たちの生活に様々な形で恩恵を与えてくれる森林は、二酸化炭素の吸収源として、また生物多様性保全の場として、地球規模でますます注目されています。昨年は、「国際生物多様性年」として、名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議が開催され、生物の遺伝資源の保全と活用のルールを定めた名古屋議定書と、生物多様性保全の目標を規定した愛知ターゲットが採択されました。引き続いて今年も「国際森林年」であり、我が国全体としては「森を歩く」をテーマとし、多くの国民の皆様にご協力いただき、森林への理解を深め、暮らしの中により多くの木材を取り入れていただくような運動を行うこととしております。その趣旨に賛同する様々な取組みが、本年を通じて国内外で実施されることになっており、本発表会もそのひとつとして位置づけています。

一方、国内の林業・木材産業に目を向けますと、昨年末に「森林・林業再生プラン」の最終とりまとめがなされました。今後、木材自給率50%を目指して、持続可能な森林整備の推進、施業の集約化や先進的林業機械の導入・路網整備などによる林業経営の高度化、木材やバイオマス等の利用推進による森林資源の活用などの具体的取組みを一層推進していくこととなります。先進的林業機械の導入については、地域の実情はいろいろあると思いますが、路網整備と併せてしっかりと進めていくことが重要であると考えています。

国有林といたしましても、今回発表していただく課題にもあるように、地域の方々とともに、「国民共通の財産」としての森林の有する公益的機能の発揮を重視しつつ、民有林・国有林を通じた森林・林業の再生に貢献していきたいと考えております。

今年の発表会は、一般発表が34課題、特別発表3題、特別講演1題の構成となっており、北海道の森林・林業、あるいは森林教育等に携わる様々な方々との協働と情報交換を通じて、国有林のみならず北海道の森林の健全な育成、道内林業・木材産業の発展にも寄与できれば、今回の発表会は大変意義あるものになるのではないかと考えております。

改めて、本日より2日間参加していただく皆様に感謝申し上げますとともに、北海道内の森林・林業の発展を祈念いたしまして、開催に当たっての挨拶とさせていただきます。

## 目 次

### I 森林技術部門

1. 砂坂海岸林における荒廃地復旧事業の軌跡	檜山森林管理署	○矢沢 俊悟・・・ 1 内田 勝弘
2. 天然林での樹種の多様化を図る更新方法の開発	森林技術センター	真庭 利明・・・ 5
3. ガルトネル保護林（ブナ人工林）における更新状況調査	北海道大学造林学 渡島森林管理署	○斎藤 秀之・・・11 中野 英昭
4. カラマツ複層林における下木の間伐について	根釧西部森林管理署	重藤 有史・・・15
5. 天然林択伐試験地報告	北海道森林管理局 指導普及課	足立 康成・・・19
6. 針広混交林への誘導に向けた除伐方法（除伐Ⅱ類の活用）	宗谷森林管理署	○ 畠 義博・・・25 高木 理絵 石水 尚輝
7. 郷土種による緑化の検証 －在来種と外来種の種子配合等による発芽率の検証－	留萌北部森林管理署	星 雄介・・・31
8. GPS（MobileMapper6）の実用的活用と国有林GISとの連携	十勝西部森林管理署 東大雪支署	○片山 青澄・・・ 33 中塚 祥憲
9. 支笏湖周辺風倒被害における更新状況と今後の課題	胆振東部森林管理署	○菅田健太郎・・・ 39 三弊 宣明
10. 森林管理署における自動撮影装置による野生動物の調査について	後志森林管理署	○野崎 龍彦・・・ 45 高久 雄太
11. 山取り苗と表土ブロックによる土場跡地の緑化	十勝東部森林管理署	○帆足 直也・・・ 51 三間 武
12. 「アカエゾマツ人工林の間伐モデル林」の成長経過について	上川総合振興局北部 森林室普及課	石川 博道・・・57

1 3. 神居古潭地区におけるエゾシカ食害の 現況把握と食害防止事業の評価	(株) 森林環境リアライズ 上川中部森林管理署	○山口 信一 . . . . 63 坂後 浩
1 4. スーパーF <sub>1</sub> とゲイマツ雑種F <sub>1</sub> との 比較について	上川北部森林管理署	○成澤 潤一 . . . . 67 津田 元
1 5. 森林を活用したまちづくり	下川町地域振興課 環境モデル都市推進室	長岡 哲朗 . . . . 71
1 6. 当署の低コスト・高効率作業システム の取組みについて	十勝西部森林管理署 (有) サンエイ緑化	○北 章吾 . . . . 75 日野 道俊 邊見 秀明

## II 国民の森林部門

17. 多様な調査手法に対応した新型樹種別再掲標等の活用について 空知森林管理署 土屋 修久 . . . . 81
18. 森林認証取得の経緯と効果等について 網走西部森林管理署 太田 尚哉 . . . . 85
19. 国民目線に立った国有林の利用とPRについて 日高北部森林管理署 ○三上 祥隆 . . . . 91  
阿部 聡
20. 地域のもりから学ぶ森林づくりー森林の生物多様性を学ぶー 石狩地域森林環境保全ふれあいセンター ○松本 誠 . . . . 97  
定山溪中学校 ○高橋 美咲  
○陰山 紘太
21. 我が署における人材育成活動 網走西部森林管理署 ○国沢 修 . . . . 103  
西紋別支署 貞廣 久男
22. パイロットフォレストを活用した森林林業の普及の取組み 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター ○林 直樹 . . . 107  
朝倉 基博
23. 国民の共有財産である国有林の利用について 占冠・村づくり観光協会 ○竹林 利広 . . . 113  
上川南部森林管理署 佐藤 和秋
24. 地域に期待される森林環境教育を目指して 常呂川森林環境保全ふれあいセンター ○栄 平男 . . . 119  
小國 敬篤

## III 高校部門

25. 保存食・救荒食の再現、トチノミの食用利用について 岩見沢農業高等学校 ○岩田 和馬 . . . 125  
○三本漆岳人  
橋本 勇太
26. 「しずない二十間道路桜並木」を活用した環境教育プロジェクトの実践 静内農業高等学校 ○館山 一樹 . . . 131  
反保 大地  
五十嵐直樹  
日高南部森林管理署 山本 謙也
27. トンボを通して見る石狩川の自然再生 旭丘高等学校 ○内田 葉子 . . . 135  
○岩田 夏実

#### IV 森林ふれあい部門

- |  |                              |                                |
|--|------------------------------|--------------------------------|
| 28. 月形スギ保護林の保護対策について<br>(第3報)                        | 空知森林管理署                      | ○井田悠一郎・・・141<br>菊地 浩司          |
| 29. 海と山の森林づくり  | 寿都町産業振興課                     | 土開 直樹・・・147                    |
| 30. 知床からの情報発信<br>ー循環する社会を目指した取組みー                    | 知床森林センター                     | ○島田 智美・・・151<br>中嶋 佑輔          |
| 31. 黒松内岳ブナ林再生プロジェクトの<br>2010年度活動報告と林内のブナ苗畑<br>作りについて | 黒松内岳ブナ林再生<br>プロジェクト実行委<br>員会 | ○斎藤 均・・・157<br>新川 幸夫<br>茂尾 実   |
| 32. 大沼地域自然再生モデル事業の取組み<br>について(経過報告)                  | 駒ヶ岳・大沼森林<br>環境保全ふれあい<br>センター | ○梅田 三幸・・・161                   |
| 33. 我が署における森林教室の取組みに<br>ついて                          | 留萌南部森林管理署                    | ○畠中 寿明・・・165<br>渡邊 博司<br>淵上 優也 |
| 34. 国民参加の森林(もり)づくりの<br>ボランティア団体との取組み                 | 石狩森林管理署                      | 菊地 誠・・・171                     |

## V 特別発表

1. 低コスト林業に資するためのトウヒ  
属ハイブリッドの創出 (独) 森林総合研究所 生方 正俊 . . . 177  
林木育種センター  
北海道育種場
2. 林地残材の利用に関わるエネルギー  
収支の評価 (地独) 北海道立総合 酒井 明香 . . . 183  
研究機構林業試験場
3. 先進林業機械導入事業で道内3地区  
に導入される機械と高効率システム (独) 森林総合研究所 佐々木尚三 . . . 189  
北海道支所  
について

## VI 特別講演

森林・林業再生プランと北海道国有林 . . . . . 195

北海道大学大学院

農学研究院 教授 柿澤 宏昭氏

## 講評

(独)森林総合研究所北海道支所長 川路 則友氏 . . . . . 205



平成22年度北の国・森林づくり技術交流発表会 点描



開会の挨拶をする山崎北海道森林管理局長



北海道大学と渡島署による共同発表



上川北部署による発表



十勝西部署と（有）サンエイ緑化  
による共同発表



釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターによる発表



岩見沢農業高等学校3名による発表



寿都町産業振興課  
土開氏による発表



独立行政法人北海道立総合研究機構  
森林資源部研究主任 酒井氏による  
特別発表



北海道大学大学院 柿澤教授による特別講演